

(様式4)

◆ 武 一美

<所属・職名>

認定NPO法人多文化共生教育ネットワークかながわ 理事長

<略歴>

- ・一般企業勤務後、家族で中東にて生活。帰国後地域日本語・学習教室ボランティアとして活動、民間日本語学校で日本語教師として働く。
- ・早稲田大学大学院日本語教育研究科修士課程修了。同日本語教育研究センターにて留学生の日本語教育に従事。
- ・神奈川県立高校における「多文化教育コーディネーター派遣事業」代表、及び多文化教育コーディネーターとして活動（(所属NPOと神奈川県教育委員会の協働事業)）。
- ・現在は、所属NPO 副理事長、及び津田塾大学非常勤講師。

<これまでの研究活動、外国人児童生徒等教育に関する経験など>

日本語学校や大学・大学院の留学生に日本語を教える一方で、地域の市民活動として外国人児童生徒等に関わってきました。所属NPOの発足後、県立高校の多文化教育コーディネーターとしてNPOの活動に参加しました。教育委員会、高校、NPO等地域の連携で外国人高校生等の入学から卒業までの支援構築を考えています。

●所属NPOにおける神奈川県立高校及び高校生への支援活動

- ・2008年より、神奈川県立高校における多文化教育コーディネーター派遣事業（神奈川県教育委員会との協働事業）に多文化教育コーディネーターとして活動を始めました。その後、複数の高校でコーディネーターとして活動し、同時に事業代表として携わってきました。高校内での生徒支援計画への協力、教員研修の計画と実施、教員研修の講師、コーディネーター研修の計画と実施などを行ってきました。
- ・「外国につながる高校生のための進路相談会」「外国につながる生徒の在留資格勉強会（教員向け・生徒向け）」の計画と実施、「新入生用日本語プレイスメントテスト」の開発と実施に携わってきました。
- ・2020年より、川崎市を中心とする県立高校（31校）生徒への「土曜日本語学習教室」「プレスクール」（神奈川県教育委員会委託事業）に携わっています。・2020年より、神奈川県日本語指導が必要な高校生の進路と校内の支援に関わる調査（神奈川県教育委員会、認定NPO法人多文化共生教育ネットワークかながわ、公益財団法人かながわ国際交流財団、三者の共同実施）に携わっています。

●中学高校用教材の共同開発

- ・中学生（高校生）用総合日本語教科書（『中学生のにはほんご』スリーエーネットワーク）の開発
- ・中学校教科（日本史・公民）副教材の開発（HPで公開中）

<対応可能学校種> 高校

<遠隔での指導助言> ※いずれかの□にチェックを記入してください。

対応可 対応不可

<その他（国等の委員歴等）> なし

<関連URL>

- ・認定NPO法人多文化共生教育ネットワークかながわ <https://me-net.or.jp/>
- ・神奈川県日本語指導が必要な高校生の進路と校内の支援に関わる調査 <https://www.kifjp.org/shuppan/houkoku>
- ・母語併記教材（日本史） <https://nihonshigaikokujin.wixsite.com/nihonshigaikokujin>
- ・母語併記教材（公民） <https://nihonshigaikokujin.wixsite.com/koomingaikokujin>